# TRP廃止措置技術開発部（週報）

令和8年10月23日（金）午前8時　～　令和8年10月30日（金）午前8時

## 1．ガラス固化

| 項目 | この期間の実績〔本〕 | 本年度の実績〔本〕 | 運転開始後の実績[1)]〔本〕 |
|---|---|---|---|
| ガラス固化体の製造本数 | 0 | 0 | 354 |

## 2．放出放射能

| 放出口 | 放出核種 | この期間の放出量〔GBq〕[2)] | 本年度の放出量〔GBq〕 | 基準又は目標値に対する割合〔%〕[3)] |
|---|---|---|---|---|
| 排気筒 | クリプトン[4)] | N.D. | N.D. | — |
| 海洋放出口 | 全α放射能[5)] | — | N.D. | — |
| | 全β放射能（ﾄﾘﾁｳﾑを除く）[6)] | — | N.D. | — |
| | トリチウム | — | $1.2\times10^{1}$ | 1%未満 |

端数処理のため、各項目の和と合計値が異なる場合があります。

1)　ガラス固化体の製造の運転は、平成7年に開始しました。

2)　ベクレル(Bq)は放射能の強さを表す単位です。ギガベクレル(GBq)は$10^{9}$ Bqのことです。

3)　全α放射能、全β放射能（ﾄﾘﾁｳﾑを除く）については、保安規定に定める年間の放出管理目標値（それぞれ $1.2\times10^{-1}$ GBq、3.5 GBq）に対する本年度の放出量の割合を示しています。
クリプトン、トリチウムについては、保安規定に定める年間の放出管理目標値（それぞれ $3.4\times10^{5}$ GBq、$4.0\times10^{4}$ GBq）に対する本年度の放出量の割合を示しています。

4)　N.D.（Not detectable）は、検出限界濃度（0.0024 Bq/$cm^3$）未満を示しています。

5)　N.D.（Not detectable）は、検出限界濃度（0.0011 Bq/$cm^3$）未満を示しています。

6)　N.D.（Not detectable）は、検出限界濃度（0.022 Bq/$cm^3$）未満を示しています。